



議員の定数が変わります

定数削減議案を可決

令和4年3月定例会最終日、金田稔久議員ほか10人から、津山市議会議員の定数を現在の28人から3人削減し、25人とすべきとの提案がありました。

今回の提案に対し、3人減らすことに賛成する意見と、現状のままが良いとの意見がそれぞれ述べられた後、採決を行った結果、提案された議員定数を25人とする議案は、賛成13人、反対12人で可決されました。これに伴い、次回執行される津山市議会議員選挙からは議員の定数が25人となる予定です。



スマートフォン等で読み取ると審議の様子をご覧いただけます

議員定数についてのこれまでの変遷

年	定数(人)	理由等
昭和26年	30	定数条例施行
平成9年	28	市議会活性化促進審議会の報告を受け、協議した結果
平成17年	35	合併特例法による定数特例によるため
平成18年	32	合併し市域が広大なものとなり、隅々まで住民の声を市政に反映させるには、極端に削減することは現実的でない判断したため
平成21年	28	長引く景気低迷と特別委員会で精力的な調査、検討を進める中で4人削減し、28人とする審査結果報告があり、協議した結果
平成30年	28	議会活性化調査特別委員会から「現状維持」とすべきとの報告2人削減の議案が上程されるも、賛成少数で否決
令和3年	28	4人削減の議案が上程されるも、賛成少数で否決その後、議員会議(※)を5回開催し引き続き議論

※議員会議・・・特定の課題について議員間で協議するため、議長が全議員を招集する会議
※表記の年は基本的に定数に関する協議等がなされた年を表示

審議の様子をお伝えします

提案理由の説明

提案者 金田稔久 議員

平成27年以降、20回にも及ぶ議論を行ってきた議員定数については、人口比により議員定数を決めることを基本とし議論してきた。他方、市民の声を聞くためという観点からは、面積や地形にも配慮する必要があるとの意見もあった。

そのような中、高度情報社会の現代において、多様な方法で市民の声を聞くことができるようになってきている状況から、やはり人口比を中心に議員定数を考えたところ、25人が本市における適正な議員定数であると考へ、提案する。

賛成

岡田康弘 議員

本市の財政において、健全な行財政運営が求められる中、定数を3人削減した場合、1期4年で約9,000万円が削減され、その財源を市民サービス向上につなげることが期待できる。これらのことを含め、適正な定数を考えたところ、3人減が適正と考え、賛成する。

質疑

三浦ひらく 議員

これまで議論の中で、3人削減という意見はなかったが、3人削減の根拠は？
多様な市民の声を聞くには現状維持が良いという意見をすべて否定するものではないこと、また削減後の委員会構成、これらを複合的に勘案し、3人削減が適正と考え、提案した。

反対

美見みち子 議員

民主主義の観点から、なるべく多くの議員が、津山市の地域住民の声を議会に届けることは大切なことである。また、多様な意見を取り入れるために必要な、女性議員を増やす取組に水を差すことにもなりかねないことから、反対する。

反対

河村美典 議員

本市議会が抱える課題の中に、平均年齢の高さ、女性議員の少なさがあると考えられる。市政への若い力と女性の参画を促し、幅広い市民の声を反映することのできる議会であるためには、その間口となる議員の定数を、現時点で削減すべきではないと考え、反対する。

賛成13人 反対12人

青色↓議案に反対

表決を締め切りました

1 三浦ひらく	2 勝浦正樹	3 高橋寿治	4 村上祐二	5 広谷桂子	6 政岡大介
7 河村美典	8 中村聖二郎	9 田口浩二	10 安東伸昭	11 政岡哲弘	12 秋久憲司
13 金田稔久	14 原 行則	15 村田隆男			18 美見みち子
	20 中島完一	21 竹内邦彦	22 竹内靖人	23 西野修平	24 岡安謙典
25 河本英敏	26 吉田耕造	27 森岡和雄	28 岡田康弘		議長 津本辰己

賛成 13 反対 12 表決総数 25

各議員の判断は？

※議場内ディスプレイに表示される表決画面です
※津本辰己議員は議長のため採決には加わりません
※松本義隆議員は当日欠席されました
※現在の議員数は27人です